

支える会通信

統一要求に基づく 解雇争議の解決に向けて



前号でも報告の通り、5月14日JALは各組合にLCCの立ち上げとそれに伴う労務方針変更により、解雇問題解決に向けて一歩踏み出し話し合いの場を持つと発言しました。以降、5月14日、6月12日、7月11日、8月22日、9月26日、10月4日と特別協議が行われてきました。乗員組合とは主にLCCでの

乗員募集を中心に地上職の嘱託雇用についても議論されています。キャビンクル ユニオン（CCU）ではLCCでは年齢上間にあわないとJAL本体での客室乗務員の経験者採用についてのやり取りが行われています。乗員組合との交渉では会社側は「採用の是非にあたっては（JAL関連会社からの転籍や一般公募と）差を設けることはない」と主張しています。10月9日にはJALが設立したLCC準備会社TB Lのパイロットの募集要項が公表されていますが、賃金条件などの明示はありません。客室乗務員の経験者採用では一年契約更新4回まで、募集要項には年齢は設けないが65歳までの範囲、時給

発行責任者
 柚木康子
 大田区羽田
 4-10-4
 石井ビル3階
 TEL03(6423)7878
 FAX03(6423)7430
 メール
 sasaerukai@
 lemon.plala.
 or.jp

連帯する夕べ 開催される

8月31日大井町きゅりあんにて第40回連帯する夕べが100名で開催されました。

毎年夏に行われている働くものの連帯を確認する集会です。多くのスタッフで手づくりの料理が提供されます。

JAL争議も15名が参加し、多くが調理から参加、夕べでは清田パイロット争議団事務局長が代表して訴えを行いました。（写真上）

1000円+乗務手当1000円、月間8日程度勤務、年収130万円程度が出されています。また両組合は協議の都度「解決金の決断もなければ、解雇問題は解決しない」と申し入れています。が、会社は「現在のところ解決金については考えていない」と言うスタンスを変えていません。5月以降両組合からの要請を受け、支援共闘会議呼びかけの様々な行動が中断されてきました。この間国民支援共闘会議の議論では、特別協議の場で会社が「募集・採用」議論に終始し、最後に



（柚木）
 争議団は今も様々な組を行っています。引き続きご支援をお願いします。

「採用の自由」で会社が選別する懸念が表明されています。このような懸念が現実とならないよう、また会社が引き延ばしをはかるならJALに決断を求める行動が重要となつてきます。現在JALが解雇争議解決を早期に決断するよう、JALの会長・社長宛の要請ハガキが取組まれていますので是非ご協力をお願いします。

支援共闘会議が 本社要請を行いました！

7月の支援共闘会議の
確認に基づく日本航空の
会長・社長宛の「争議の
早期解決に向け責任ある
対応を求める要請」文を
8月31日、国民支援共闘
会議共同代表の糸谷全国
港湾委員長、全労連仲野
常任幹事、津恵事務局長、

CCU前田副委員長によ
り持参要請を行いました。
要請文を手渡し、一週間
以内に回答を求めました。
次の日にJALは直接
会う考えはないことをC
CU執行部に電話をして
きました。要請団体に返
事するのが常識ですが、

各地の支える会

徳島の会

JAL不当解雇撤回争議団
パイロット団長 山口宏弥
8月30日、「第五回JAL
L闘争を支援する徳島の会」
総会が開かれました。
総会では、JAL争議団
の闘いの経過と現状につい

2018年8月31日

日本航空株式会社
代表取締役会長 植木 義晴 殿
代表取締役社長 赤坂 祐二 殿

日本航空の不当解雇撤回をめざす国民支援共闘会議

共同代表
全日本労働組合総連合(全労連) 議長 小田川義和
全国労働組合連絡協議会(全労協) 議長 金澤 壽
全国港湾労働組合連合会(全国港湾) 委員長 糸谷欣一郎
日本マスコミ文化情報労働者会議(MIC) 議長 小林 基秀

争議の早期解決に向け責任ある対応を求めます(要請)

私ども日本航空の不当解雇撤回をめざす国民支援共闘会議(略称 JAL 不当解雇撤回国民支援共闘)は、2010年12月の発足以来、JALの解雇争議は、労働者の雇用と権利を守るだけでなく、安全運航の確保や公共性の維持等、利用者・国民にも関わる問題と受け止め、被解雇者・当該労組とともに取り組みを進めてきました。

2016年10月以降については、当該労組が提出した統一要求を全面的に支持するとともに、この要求に沿った解決をめざし、解雇争議に特化した労使交渉を開き、早期解決に踏み出すよう貴職に対し繰り返し要請をしてきました。

今年5月14日、貴職は労働組合に対して「これまでの労務方針を変更して、解雇問題の解決を進める」との回答をし、その後、5月23日、6月12日と、2回の特別協議が行われました。そして、6月19日の株主総会では、株主として出席した山口乗員争議団長の発言に対して、植木会長は「ご意見を尊重して解雇問題の解決に向けて、組合とも誠心誠意話し合う」と答弁しました。

株主総会後の7月11日の第3回の特別協議においては、何らかの動きが出るものと注目しましたが、これまで2回の交渉と同様に、当該2労組が提出した4項目の統一要求に沿った職場復帰や解決金について、具体的な回答には至っていません。

赤坂社長は就任直後の経営協議会において「なるべく早く解決したいと心から思っている」と発言し、さらには、株主総会での植木会長の答弁など、解決を図るとの経営トップの決断が示されました。

私どもは現在、早期解決に向けて必要とあれば取り組みを再開する決意をもって、株主総会での会長発言などが誠実に履行されるのか、労使交渉の状況を注視しています。

つきましては、統一要求にそった早期解決を改めて求めるとともに、「どの様に解決しようとしているのか、また解決の目途についてどう考えているのか」等、解決交渉にのぞむ貴社の基本的考え方について、面談の機会を設けていただいた上、示していただきますよう要請致します。

以上

て、私からの1時間の報告に続き、愛媛在住で客乗原告の林恵美さんと大池ひとみさんから、訴えをさせていただきました。翌31日は徳島市内の6労組を訪問して、これまでの御礼と、更なるご支援をお願いしてきました。徳島での2日間、スケジュールの設定など、「徳島の会」幹事の河村さんには大変ご尽力をいただきました。30日は、午前中に東京での国民支援共闘会議幹事会へ出席して、午後には徳島に飛んだことから、最新の情報を提供することが出来ました。総会には、自治労働島県本部、農協労連、徳島市交通労組、徳島バス労組、全港湾、全国一般徳島、市民病院職労など地元徳島の労働組合役員など45名の参加がありました。また、総会では徳島県労連からも挨拶があり、総会はJALの



総会で講演する山口団長

165名という大量解雇事件への関心の高さを感じさせるものでした。総会後の交流会や翌日の労組回りで、訪問先の組合が抱えている問題なども話題となり、「怒り」や「笑い」を交えながら「ざつくばらん」に意見交換をすることが出来ました。支援者から「沈まぬ太陽を全巻読みました。映画も見ました。組合の役員が酷い目に遭わされたんですね。今のJALはどうなのでしょう？」と聞かれることが度々ありました。また、私たちがからの報告を聞いて「解決に向けて協議が始まったことは、運動の成果ですね」

「いま街頭宣伝を中止しているようですが、会社から協議の条件を付けられたのですか？それとも第三者が仲介に入っているのですか？」「解決交渉には当事者の山口さんも出ているのですか？」など、率直な質問も出されました。私からは「労働組合の自主的な判断で進めています」と答えると、一様に「解雇争議では聞いたことのないやり方ですね。」と感想を述べ、中には「空を飛ぶ人達は違うのかなあ」などの反応も返ってきました。

また、組合訪問では、マスコミで大きく取り上げられたお盆の「阿波踊り」も話題になりました。「総踊り」の実施について、徳島市長と観光協会との対立が報道されていました。また、舞台裏では「阿波踊り」が政争の道具にされているという興味深い話も聞くことが出来ました。

今回、徳島を訪問して、JALの165名の解雇が「物言つ労働者排除」「労働組合弱体化」にあり、労働組合共通の問題との認識が拡がっていること。そして、私たちの解雇争議は「空の安全」に直結している問題で、利用者にとっても無関心ではいられない問題であることを改めて実感しました。

愛媛・支える会通信から



愛媛では三人の愛媛原告を支える会が結成されており、支える会二ユー

スが発行されています。9月20日号に載せられた争議団の大池ひとみさんの記事を紹介します。

【人間は一人では生きていけない】

大池ひとみ

今年の夏は災害がたくさん発生しました。被害に遭われたすべての方々にお見舞い申し上げます。

思い返せば、2011年3月11日、東日本大震災が起こった日、私たちは東京地裁の大法廷にいました。解雇された我ら客室乗務員の初めての意見陳述の日だったのです。

あの日のことは昨日のことのように思い出すことができます。私たちのたたかいは、3・11とともに始まり、今も続いているのです。9月初めには、北海道で地震がありました。その前々日には、台風21号が関西地方を直撃しました。そして、その前月には、中国・四国地方が広範囲にわたって多

くの家屋や人々を失いました。

西日本豪雨と名付けられた大雨は、我が家にも被害をもたらしました。

あつというまに家の前の畑は湖となり、かろうじて居住部は床下浸水ですんだものの、納屋と倉庫は水に浸かりました。この地区は、山から水を引いているので、断水はしませんでした。水の色はコーヒーのように茶色く濁り、いきなり停電して、野村町に行く道路も宇和町へ行く道路も土砂崩れで通行止めとなり、孤立してしまいました。

暗闇の中で、自然解凍された食糧をプロパンガスで煮炊きし、スマートフォンからの充電は車のバッテリーから取りました。

いったいいつまでこの状態が続くのだろうと、本当に心細く、道路が開通したと聞くやいなや、さっそく町ま

で車を飛ばしました。

山の斜面が流されて、大きなコンクリートの塊が道路のすぐそばまで迫り出し、山からの水が赤土と混ざって道路を覆い、走っていると、赤いハネが飛び散って、車が泥だらけになりました。そんな車で町に行ってみると、なんだ、この平和な空気は！町の人たちは、私たちがここ数日間、大変な思いをしてきたことなんて、これっぽっちも知らず、普段通り、普通に生活していました。被災した人のことなんて、所詮、他人事なんだ！そのことを思い知らされました。

「所詮、他人事」なのですが、それでも、苦しんでいる人、困っている人に寄り添って、何かできることはないだろうか、と懸命に考え、行動に起こしている人がたくさんいることも、私は知っています。

それは日頃から支援して下さっている皆様です。今回の災害で、改めて心

に沁みました。励ましの言葉をかけてくださったたり、お見舞い金をいただいたり、多くの方々に助けられました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

当事者にはなれないけれど、その思いは十分に伝わっていて、見ず知らずの我々に7年余の支援を続けて下さっていることは、感謝しても足りないほどです。

世間に目を向けてみると、福島では7年以上経ってもまだ仮設住宅で暮らしている人々がいらつしやるし、熊本地震の復興にも時間がかかっています。今年の夏の災害も然りです。

この方々の苦しみを風化させてはならない。日々の暮らして精いっぱい、とても他人のことなんて、と思わず、ほんの少しでもいいから、寄り添ってほしい。忘れないでほしい。

今回の災害で感じたことは、「人間はひとりでは生きていけない」と

北海道で集会と労組への要請行動を行いました！

6月27日、『音威子府・旭川』

参加者：金澤全労協議長、鈴木客乗争議副団長

JAL闘争を支える音威子府の会主催による学習会が18時〜音威子府村勤労者会館で約40名の参加で開催。終了後、交流会。自治労の若い組合員が大勢参加くださいました。

・14年にJAL闘争を支える音威子府の会を立ち上げて以来、800名弱の人口の中で5団体31名の会員を維持、拡大していただいています。

ということ。切羽詰まったときに、人間の本性が出る、ということ。そして、何事にもめげず、諦めてはいけない、ということ。会社は方針を変えて、「解決に向かって話し合

〜参加者からの感想〜

・ユニオン組合員（元国労闘争団家族）…国鉄闘争は「解雇撤回」を勝ち取ることができませんでしたが、全国の皆さんからの大きな支え「共闘の力」があつて解決することができました。今日のお話を聞いて、資本の身勝手な「首切り」に怒りがこみ上げてきました。皆さんには、「解雇撤回」を実現させていただきたい。地方から微力ではありますが、解決までともに闘っていききたい。

・自治労組合員（20歳）…

いに応じる」と言ってきたわけですから、それは支援者の皆様と原告たちのがんばりのおかげ。もうあとひと踏ん張り、さらなるご支援をどうぞよろしくお願い致します。

学習会に参加して、日本を代表するよつな会社で、「不当な解雇」が行われていた事を初めて知りました。安定・安心して暮らすことができる公務員を選択した私にとって、JALのお話や30年前に国鉄の人がJRに不採用になった事など、公務員だからといって安心できないし、決して他人事ではないと感じました。私も皆さんの闘いの解決まで応援していききたいと思っています。



『釧路・標茶・矢白別行動』

参加者：清田パイロット争議団事務局長、杉山客乗争議副団長

不当解雇と闘う日本航空労働者を支える釧路・根室の会のご尽力により以下の行動を行いました。

6月28日、釧路市内の労組団体への支援要請。18時から釧路障害学習センター「まなぼつと」にてJAL争議を支援する釧路集会を約50名で開催。

6月29日、午前には労組団体へ支援要請。昼に標茶において14名で集会。夕方には厚岸において15名で集会。

6月30日、矢白別平和公園にて昼食交流会、のち別海町にて40名で学習集会。

「JALが解決に動き出したと聞いてから情報が全くなく、今回やっと理解できた」などおしかりを含め多くのご意見、励ましの言葉をいただきました。頻繁に訪れることができない分、連絡を密にとりながら、勝利解決に向け尽力することを確認しました。